



特定非営利活動法人 アーツプラネットプランフロームイガ

アトリエニュース



〒516-0205 三重県名賀郡青山町伊勢路字 青山1381-77 Tel & Fax 0595-53-1077

2004. 8. 12 発行 編集担当: 道中

7月21日に開会した Artist in Residence at IGA 2004。開催期間の半ばを過ぎました。開会式、公開制作、彫刻教室など、活動途中報告と、小中学校との連携の報告です。地元との交流が、少しずつ深まってきています。忙しくてなかなか会場まで足を運べない方にも、活動の様子を伝えることが少しでもできたなら幸いです。

Artist in Residence at IGA 2004 開会式

7月21日、青山太鼓の力強い音とともに、開会式がスタートしました。今年は青山町、青山町教育委員会も本法人と共に主催者となり、重機の確保や夕食の賄いなど、地元の方々に、昨年よりいっそうの協力を得られる体制となりました。

開会式の途中、にわかにかが押し寄せ、昨年のような大雨かと心配しましたが、幸い雨は降らず、滞りなく、開会式を終えました。長期間のレジデンスが、事故なく、無事終了できるよう、心から祈りました。



青山太鼓保存会の子どもたち



小竹実行委員長の挨拶



上野高校金管バンドのファンファーレの後、のみ入れ式

滞在型公開制作

7月21日～8月31日の長期間にわたる公開制作です。今回は作家さんも6名に増え、多彩な制作活動を見られることになりました。(制作風景は、ホームページのフォトギャラリーで、時間を追って見られます。)



井川 彩子さん(土)

巨大な石膏型を使っでの陶彫制作です。型をはずすのも大変です。



池田 丈一さん(木)

雨の影響が一番受ける池田さん。晴れ間を逃さず、ひたすら木に向かっていきます。



大岩 久乃さん(石)

細い体のどこにこんなパワーが…。石の雲の2個目にとりかかっています。



おーにし おさむ さん(金属)

たたいては溶接、という地道な作業の繰り返しで人の形が現われてきました。



外磯 秀紹さん(土)

手びねりで積み上げていく外磯さん。傍らの金魚が一服の清涼剤になっています。



ワーリイ ホウズ さん(土)

窯自体が作品となるファイアー・ツリーの制作中です。火入れが楽しみです。

彫刻教室

今回の彫刻教室は「石」「木」「土」の3コースとなり、作家の方は2人ずつ組んで担当していただいています。土コースの人数が多く、心配しましたが、講師経験のあるボランティアの方も応援に来て下さり、充実したものになっています。ワーリィさん指導の手作り窯による焼成は、わくわくするものでした。



石コース

ドリルで穴を開けるところから、自らの手で行います。抵抗の大きい素材に、真正面に取り組んでいます。



木コース

地元でとれた丸太を切り分け、皮をはぎ、のみを使って丸彫りしていきます。ときには、チェーンソーも使います。



土コース

手びねりで、土と対話しながら、かたちをつくり出していきます。今日は、紐づくり。先生のお見本を見つめる目は真剣そのもの。

造形体験コーナー

今回の目玉コーナーです。公開制作を見学に来た方、彫刻教室にお子様を引率されている保護者の方、あるいは連続して来るのはむずかしいけれど、アートに取り組んでみたいという方などを対象に、設けたコーナーです。

フェルト造形（ボールまたはコースター）、牛乳パックの紙漉き、藍染め、スタンドグラスのペンダントトップ、木彫（箸置きまたはペンダントトップ）の5コースがあります。



青山まつりに出張

7月25日の青山まつりに私たちもブースを出しました。青山小学校との共同授業で知り合った子どもたちが声をかけてくれたり、参加してくれたりしました。



親子でフェルトボールづくり

ウールはアルカリとお湯と摩擦で縮まります。その性質を利用して、ウールの原毛を硬いボールにしていきます。大人も子どもも、けっこうはまります。



スタンドグラスに挑戦

ボランティア・スタッフの指導の下、スタンドグラスをハンダ付けしていきます。細かい作業です。慎重に、慎重に。

日々の生活から

長いレジデンスの間、何といたっても衣・食・住の確保が大切です。衣（洗濯）・住は、昨年と同じく若戎酒造さんにお世話になります。夕食は、月～金は、青山町の学校給食調理師さんと地域ボランティアさんが、夕食ボランティアのチームを組んで交替で作ってくださり、土日は、法人スタッフの金中さんと原田さんが、担当してくださっています。

昼食は、スタッフと作家さんが協力して、自炊しています。朝食は各自でとっています。



若戎酒造の杜氏さんの宿舎

外観は蔵造りのように、どっしりとして中は、集う場所と個々の部屋がきちんと分かれていて、長期の滞在には、本当にありがたいです。



公民館での夕食

この日の夕食は、揚げたての天ぷら。大根の天ぷらには驚きましたが、とてもおいしく、すっかり皆のお気に入り。



この日の昼食はゴーヤーカレー

金中農園のゴーヤーをたくさんいただきました。早速、お昼のカレーになりました。1食100円前後で賄っています！

小学校との連携

6月22日は、1～5年生対象に共同授業を行いました。21日も予定されていましたが、暴風警報発令のため授業を断念。6年生はその影響を受けました。この日制作した陶芸作品（3年＝植木鉢・5年＝土鈴）を7月12日に野焼きしました。



紙テープを素材に立体動物の制作(2年)
紙テープを曲げたり、折ったり、組み合わせたりして、立体的な動物を作りました。



身近な素材を集めて乗り物制作(4年)
家にある発泡スチロールや、空き容器を組み合わせ、乗り物を作りました。



野焼きの窯入れ(5年)
まず、3年生の植木鉢を下に組み上げ、古新聞に包んだ土鈴を転がらないよう置きます。

中学校との連携

3年生対象の進路講話のゲストティーチャーに招かれました。建築とデザインについて話してほしいという学校からの要望で、地元の方々に加えて、本法人の柴田健児さん（建築）、石津勝さん（デザイン）が講演しました。



職業についてのお話

職業体験に行く前の準備として、この講話を生かしていけるようとの指導。



柴田さんの講演

自分の体験を元に、今の職業を選んだ理由や、コミュニケーションの大切さ等のお話。



石津さんの講演

デザインという仕事の幅広さや、デザインをする上で、何が大切かというお話。

最後にお知らせです

- Artist in Residence at IGA 2004 は、公開制作が8月31日まで、その後9月5日～19日「彫刻作品展覧会」、9月5日「ギャラリーコンサート」、9月5日「アーツ・フォーラム」と見所（詳しくはチラシをご覧ください）は満載です。会場にお越しいただけたら幸いです。
- Artist in Residence at IGA 2003 の立体造形教室の活動をもとに、DVD教材「立体造形をつくろう～土・石・木・金属をつかって～」を作成しました。
- 法人のホームページをリニューアル・アップしました。（別紙に、トップページと活動趣旨・会員一覧のページを紹介しています。）
法人の活動とともに、Artist in Residence at IGA 2004 の様子を適時配信しています。日記、フォトギャラリー（制作風景・彫刻教室）は随時更新しています。
ぜひご覧ください。あわせて、ご意見、ご感想、質問等、BBSにお寄せください。
リンクをご希望の方、展覧会情報を配信希望の方、ご連絡ください。→Eメール、法人事務所または、HP 担当まで

アドレス：<http://www.kawachi.zaq.ne.jp/appfi/>

Eメール：appfi@kawachi.zap.ne.jp

継続会員の方の中でまだ入金されていない方は、年会費の入金をお願いします。

口座番号は次のとおりです。振込用紙は金融機関備え付けのものをご利用ください。

銀行口座 百五銀行 青山支店・普通預金 173836 トクヒ アーツ プラネット プラン フローム イガ
郵便口座 00890-1-106346 NPOアーツ プラネット プラン フローム イガ